

地域交通戦略を踏まえた 最近の動向について

地域交通戦略を踏まえた最近の動向について

- 本年2月に策定した富山県地域交通戦略において、「関係者でともに取り組む施策」として以下の施策をとりまとめ
- 各施策に関連する取組み状況については次ページ以降のとおり

関係者でともに取り組む施策

地域の活力・魅力向上のための「投資」

1 鉄軌道等のサービスレベル向上に対する投資

- (1) 鉄軌道の混雑緩和等のための輸送力の強化
- (2) 快適性・環境性の向上のための鉄道車両の導入、鉄軌道設備の更新・改良等
- (3) キャッシュレス決済の導入
- (4) サービスを支える担い手の確保・育成
- (5) 教育・子育て・福祉等を支える鉄軌道サービス等の確保

2 まちづくりと連携した駅の機能強化に対する投資

- (1) 駅を中心としたまちづくりや駅の交通結節機能の強化
- (2) 市町村のまちづくりの拠点となる駅の空間を活用した地域拠点機能の強化
- (3) 駅施設のバリアフリー化

3 地域内のモビリティサービス（バス・タクシー・新モビリティサービス）に対する投資

- (1) 新たなサービスの立上げなど地域主体の取組みの推進
- (2) サービスを支える担い手の確保・育成等

4 ネットワーク内の移動・交流の創出に対する投資

- (1) ネットワーク内のサービス等の連携（MaaSの充実等）
- (2) とやまロケーションシステムの充実・利活用
- (3) 地域交通に関するデータ連携基盤の構築

地域の活力・魅力向上のための「参画」

5 利用者としての参画

- (1) 地域交通を中心としたライフスタイルへの転換

6 支え手・担い手としての参画

- (1) 地域交通の支え手としての積極的な参画

7 沿線まちづくりとしての参画

- (1) 駅を拠点としたまちづくり
- (2) 拠点駅の駅空間等を活用した事業活動・社会活動
- (3) 地域の魅力向上につながる駅設備・車両のデザイン性向上

8 地域交通サービスとの連携等を通じた参画

- (1) 各文化・商業施設や観光地等における地域交通の運行情報等の案内
- (2) 沿線地域の関係者と連携したMaaSアプリでの新たなデジタル乗車券の企画・作成
- (3) 各地域のイベントと連携した地域交通の誘客や観光資源としての活用
- (4) 地域交通サービスによる観光客の移動環境の整備
- (5) その他、他分野・他業種と地域交通サービスの連携の検討

「富山県地域交通戦略」から抜粋

地域の活力・魅力向上のための「投資」

1 鉄軌道等のサービスレベル向上 に対する投資

- (1) 鉄軌道の混雑緩和等のための輸送力の強化
→ P.4,5,8,9
- (2) 快適性・環境性の向上のための鉄道車両の
導入、鉄軌道設備の更新・改良等 → P.4,6
- (3) キャッシュレス決済の導入 → P.4,7,9

3 地域内のモビリティサービス (バス・ タクシー・新モビリティサービス) に対する投資

- (1) 新たなサービスの立上げなど地域主体の
取組みの推進 → P.13,14
- (2) サービスを支える担い手の確保・育成等
→ P.15,16,17

2 まちづくりと連携した駅の機能 強化に対する投資

- (1) 駅を中心としたまちづくりや駅の交通結節
機能の強化 → P.10
- (2) 市町村のまちづくりの拠点となる駅の空間
を活用した地域拠点機能の強化 → P.11
- (3) 駅施設のバリアフリー化 → P.12

4 ネットワーク内の移動・交流の 創出に対する投資

- (1) ネットワーク内のサービス等の連携
(MaaSの充実等) → P.18
- (2) とやまロケーションシステムの充実・利活用
→ P.19

城端線・氷見線再構築の取組み

○今年2月に、地域交通法改正後の全国第1号の認定を受けた計画に基づき、再構築事業を実施中

再構築に向けた検討の状況

○城端線・氷見線再構築検討会（R5.7月設置）

将来に向けた持続可能な路線を実現するため、利便性・快適性の向上などの取組みを定めた再構築実施計画を策定

○城端線・氷見線再構築会議（R6.4月改組）

R6.4.30 交通系ICカードの対応

R6.7.29 新型鉄道車両の検討

城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画

◆計画期間 令和6年2月～令和16年3月

◆事業主体 JR西日本からあいの風とやま鉄道に変更（計画開始から概ね5年後を目途）

◆利便性・快適性の向上策

○新型鉄道車両の導入 ○交通系ICカードの対応

○運行本数の増 ○高岡駅での城端線・氷見線の直通化



R6.2月 国土交通大臣
第1号認定

鉄軌道の混雑緩和等のための輸送力の強化（城端線・氷見線）

施策1-(1)関係

- 新型車両の導入やあいの風とやま鉄道への事業主体の移行後、あいの風とやま鉄道（高岡～金沢間）並みの運行本数増を計画（城端線、氷見線ともに60本程度/日（現行：城端線 42本/日、氷見線 36本/日））
- また、日中のパターンダイヤの導入など、利用しやすいダイヤについて検討

現行ダイヤ

城端線（城端方面）		氷見線（氷見方面）	
5時	27 46	5時	56
6	9	6	48
7	0	7	40
8	1	8	40
9	3	9	43
10	10 59	10	
11		11	12
12		12	3
13		13	47
14	30	14	
15		15	22
16		16	23
17		17	27
18	12 47	18	15 52
19		19	41
20	19 43	20	22
21		21	35
22		22	52
23	10	23	
21本		18本	
現行：上り下り合わせて42本		現行：上り下り合わせて36本	

移行後のイメージ

運行本数の増

あいの風とやま鉄道高岡金沢間
（現行：上り下り合わせて63本）
並みの運行本数

&

日中のパターンダイヤの導入など
利用しやすいダイヤ

参考：あいの風とやま鉄道

<高岡発→富山方面>		
改正前		
9時		47
10時	07	50
11時	14	47
12時	24	48
13時	24	41

⇒

パターンダイヤ導入後		
9時		45
10時	15	45
11時	15	45
12時	15	45
13時	15	45

※上記ダイヤは、R5.11月現在の高岡駅発の平日ダイヤ

（出典）第4回城端線・氷見線再構築検討会資料（令和5年11月29日開催）等をもとに作成

鉄道車両の導入（城端線・氷見線）

施策1-(2)関係

- 乗り心地の改善、速達性の改善、カーボンニュートラルへの要請に応える環境性能等を考慮した新しいタイプの車両の導入を計画
- R6.9月から、車両の内外装（車両の前面デザイン、車体のカラーリング、内装）のデザイン案の検討を開始（年度内を目途にとりまとめ）



34両（現車両24両、
10両増車）を
新型車両に置き換え

城端線・氷見線再構築会議の
作業チームで車両の内外装の
デザイン案について検討

現在の鉄道車両の外装、内装

キャッシュレス決済の導入（城端線・氷見線、万葉線）

施策1-(3)関係

- 城端線・氷見線では、全国で利用可能な交通系ICカード（ICOCA）の対応改札機を全駅に設置予定（R7年度内に利用開始予定）
- 万葉線では、9月28日よりICOCAを全車両（10台）に導入



ICカード対応改札機

（出典）第1回城端線・氷見線再構築会議
（令和6年4月30日開催）



万葉線ICOCA導入のお知らせ

（出典）万葉線HP



万葉線IC入場機（出口にも設置）

鉄軌道の混雑緩和等のための輸送力の強化（あいの風とやま鉄道）

施策1-(1)関係

- 現在2両編成で運用している車両の一部を3両編成で運行するために必要な「中間車両」を新造（R7年度以降）
- 富山～高岡間において、パターンダイヤを日中の時間帯で導入（R6.3.16～）
- 富山～泊間において、パターンダイヤを日中の時間帯で導入（R7.3.15～）

中間車両の新造

<イメージ>

【現行（2両）】

定員：約 250 人



【増車後（3両）】

定員：約 400 人
（想定）



定員 150 人程度
モーター、運転台、トイレ、パンタグラフ等の
の装備なし

<スケジュール>

R6年度 車体・台車の設計、モニター装置のソフト改修等
R7年度以降 中間車両を3両製造

（出典）第23回あいの風とやま鉄道利用促進協議会（令和6年6月20日開催）

パターンダイヤの実施

<高岡発→富山方面> 改正前

9時		47
10時	07	50
11時	14	47
12時	24	48
13時	24	41

パターンダイヤ導入後

9時		45
10時	15	45
11時	15	45
12時	15	45
13時	15	45

<富山発→高岡方面> 改正前

10時	13	46
11時	26	43
12時	26	50
13時	14	47

パターンダイヤ導入後

10時	20	50
11時	20	50
12時	20	50
13時	20	50

（出典）令和5年12月15日付けあいの風とやま鉄道(株)プレスリリースを一部修正

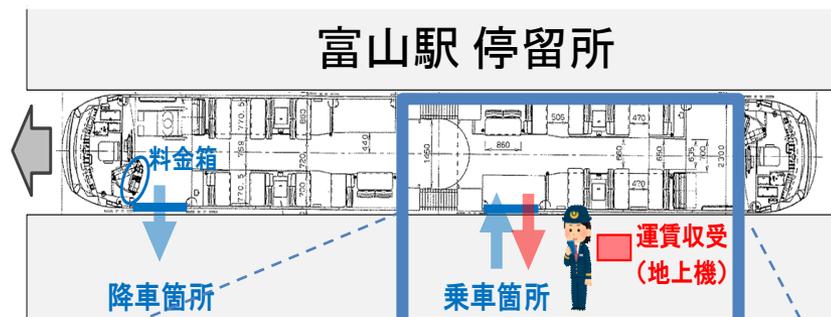
鉄軌道の混雑緩和等のための輸送力の強化（富山地方鉄道）

施策1-(1)、1-(3)関係

○市内電車の富山駅停留所において、平日朝の混雑時間帯において、乗車箇所からも降車できるように、ICカード地上機を導入予定。（今年度末から利用開始予定）



ICカード地上機の例



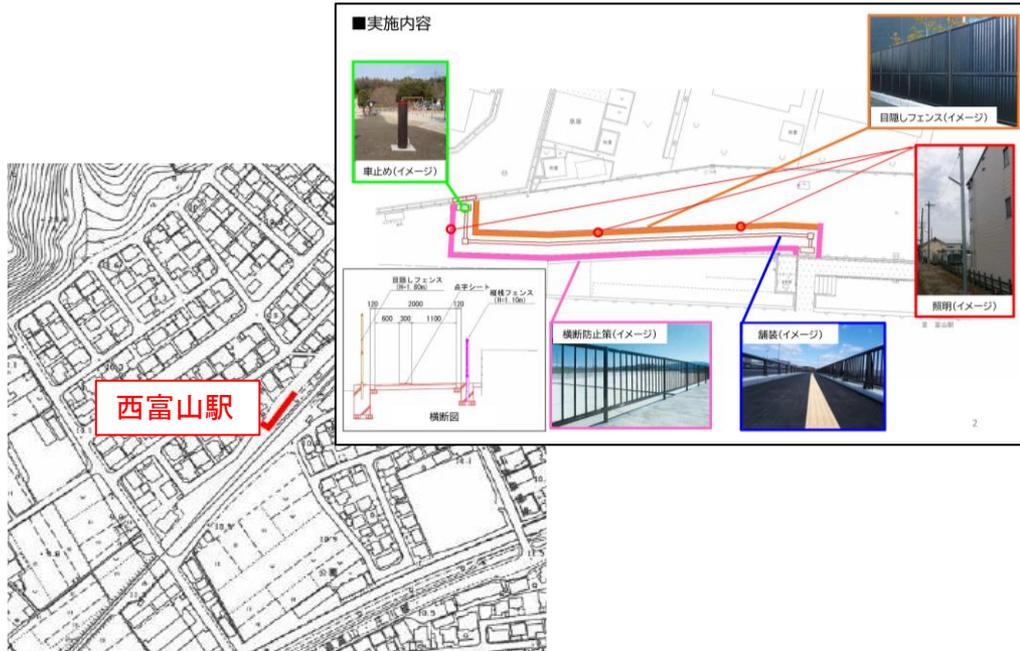
ICカード地上機の導入イメージ

（出典）富山市提供

駅を中心としたまちづくりや駅の交通結節機能の強化 (交通まちづくり投資促進事業)

施策2-(1)関係

- JR高山本線西富山駅の西側アクセス通路の新設や、西入善駅前駐輪場の新設など、駅を中心としたまちづくりに向けて市町村が投資
- ※駅関連施設の整備、駅空間を有効活用する取組み等の「投資」を支援するため、「交通まちづくり投資促進事業補助金」を新たに創設



JR高山本線 西富山駅西側にアクセス通路

(出典) 第2回高山本線沿線ブラッシュアップ会議 (令和6年10月21日開催)

西入善駅前駐輪場の新設
(R6.12供用開始)

- 今年度より新たに1自治体が地域公共交通計画、2自治体が立地適正化計画の策定に着手
- 県も、各市町村の法定協議会における協議に参画

①県内市町村の地域公共交通計画と立地適正化計画の策定状況 (R6.11末時点)

・地域公共交通計画の策定状況

12市町・1地域が策定済み

富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、朝日町、城端線・氷見線沿線4市
現在策定中の自治体

立山町

・立地適正化計画の策定状況

9市町が策定済み

富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、黒部市、小矢部市、入善町、朝日町

現在策定中の自治体

滑川市、立山町

②立地適正化計画の例 (魚津市)

第2章 2. 目指すべき都市の骨格構造 (抜粋)
市内の5つの鉄道駅を中心としたまちづくりを進めます。
(中略)

コンパクトな都市構造とし、中心拠点を中心に基幹的な公共交通軸を形成し、市内各地区を鉄道とバスでつなぐネットワークを構築・維持することによって、持続可能で活力のある都市を目指します。



駐輪場の改修整備



別棟であった観光案内所を駅舎内に移転リニューアル

駅施設のバリアフリー化（あいの風とやま鉄道）

施策2-(3)関係

- 呉羽駅北口改札の整備に合わせ、エレベーターを設置（R6.3月供用開始）
- 福岡駅でもエレベーターを整備中(R6年度供用開始予定)

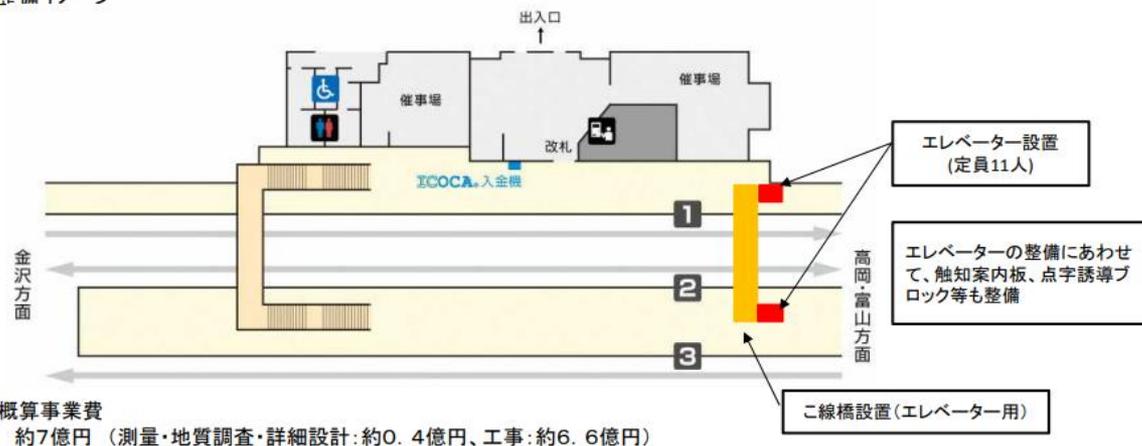
呉羽駅北口改札



福岡駅

- 1 駅概要**
 <所在地> 富山県高岡市
 <駅構造> 2面3線(単式ホーム1面1線、島式ホーム1面2線)
 <乗降人員> 2,004人/日(平成29年度から令和元年度の平均)
- 2 事業内容**
 福岡駅にエレベーターこ線橋を新設するもの

 令和3年度 : バリアフリー基本構想策定(高岡市)
 基本設計(高岡市補助により実施)
 令和4年度 : 測量・地質調査・詳細設計
 (国・県・高岡市補助により実施)
 令和5年度～: 工事着手予定(令和6年度に供用開始予定)
- 3 整備イメージ**



- 4 概算事業費**
 約7億円 (測量・地質調査・詳細設計: 約0.4億円、工事: 約6.6億円)

(高岡市HPより)

地域内モビリティサービスに対する投資① (地域主体の新たなサービスの取組みの推進)

施策3-(1)、8-(5)関係

○戦略策定後、県の事業（※）や国のモデル事業を活用した、地域の取組みが開始

※地域の関係者による持続可能な移動サービスの立上げを支援するため、「地域共創型移動サービス推進事業」を新たに創設

＜新たな取組みの例＞



「チョイソコとなみ」(砺波市)

事業所に停留所を設置する協賛制度「ウチマチサポーター」*を開始 (R6.10.1～)

*取組に賛同し、事業所に停留所設置を希望する市内事業者を募集し、10,000円/年をスポンサー料として納めてもらう。



「のるーと射水」(射水市)

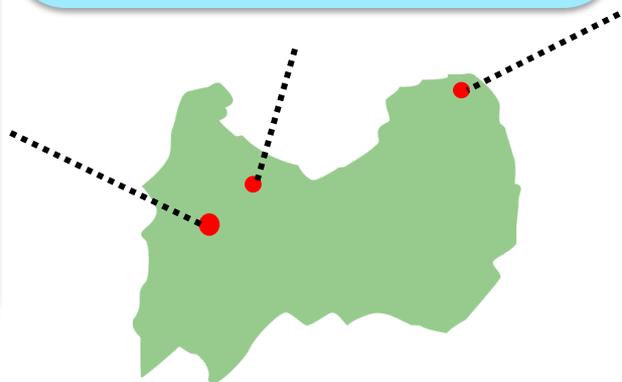
R6.9～北東エリアでの実証運行開始



「ノッカルあさひまち」(朝日町)

児童の利用に配慮した機能*を追加 (R6.4.1～)

*児童の乗降時に、登録した保護者のLINEに乗降通知が届く。



地域内モビリティサービスに対する投資② (地域主体の新たなサービスの取組みの推進)

施策3-(1)、8-(5)関係

○地域主体の新たなサービスの立上げに向けて各地域で取組みが展開
(県内では、国の「共創・MaaS 実証プロジェクト」に計13件が選定)

【R6年度共創モデル実証運行事業 選定事業】(8件)

事業実施地域	共創プラットフォームの名称	事業名
富山県魚津市	魚津市交通 DX(オンデマンド交通)実用化共創プラットフォーム	魚津市交通 DX(オンデマンド交通)実用化事業
富山県黒部市	Go トレプロジェクト共創プラットフォーム	外出自主トレーニングプログラム「Go トレ」-ブラッシュアップ PJ -
富山県南砺市	Go トレ@ふくみつ共創プラットフォーム	新しい福祉サービス「Go トレ@ふくみつ」開発 PJ- 中山間地域での福祉×交通×介護予防-
富山県立山町	芦峯寺線「リ・デザイン」共創プラットフォーム	芦峯寺線デジタル活用「リ・デザイン」実証事業
富山県射水市	射水市公共交通共創プラットフォーム	コミュニティバス置換型 AI オンデマンドバス「のるーと射水」実証運行
富山県朝日町	朝日町公共交通デジタル化実証プラットフォーム	朝日町公共交通デジタル化実証事業
富山県南砺市	南砺市公共交通共創プラットフォーム	南砺市公共交通共創プロジェクト
富山県氷見市	上庄谷地域・余川谷地域における持続可能なデマンド運行システム共創プラットフォーム	システム共同化による持続可能なデマンド運行実証プロジェクト

【R6年度モビリティ人材育成事業 選定事業】(5件)

事業実施地域	事業実施主体	事業名
富山県魚津市	富山県魚津市	魚津市交通 DX (オンデマンド交通) 実用化共創プラットフォーム人材育成事業
富山県黒部市・南砺市	一般社団法人 SMART ふくしらぼ	「コミュニティ・ドライブ」プロジェクト
石川県小松市・富山県南砺市	一般社団法人全国自治体ライドシェア連絡協議会	「インクルーシブな交通政策」に係るコーディネーター育成事業
富山県全域	「ヒトとマチの動かし方」研究会 UgoQ	富山県における「投資」と「参画」による共創創出コミュニティ育成
富山県南砺市	一般社団法人ジソウラボ	「デマンド×サブスク運賃×貨客混載」事業を実現する高付加価値型モビリティ・コーディネーターの育成

サービスを支える担い手の確保・育成①（富山地方鉄道、加越能バス）

施策3-(2)関係

- 8月の地域モビリティ部会・交通ワンチーム部会（合同開催）の議論を踏まえ、県とバス事業者とで連携し、バス運転手の確保対策を強化
- バス運転手専門の就職イベント「どらナビEXPO東京」に、県とバス事業者が連携し、ブースを出展。県の移住支援員とも連携し、全国レベルでの採用活動を初めて実施



50名を超える求職者が
富山県ブースに来訪



富山県移住支援員による
富山県紹介の様子

【ドラナビEXPO東京 概要】

日時：10月12日(土)10:00～18:00、場所：東京国際フォーラム Bホール、来場者数：約500名

サービスを支える担い手の確保・育成②（富山地方鉄道、加越能バス）

施策3-(2)関係

- どらなびEXPO東京でのブース出展後、県内バス事業者の見学・体験ツアーを実施
- 県内バス事業者への就職に関心がある方、就職を検討する方が県内外から参加。
職場を体感するとともに、人事担当者との座談会を通じ働くイメージをもっと
いただく機会を設定。



営業所見学ツアー（11月30日開催）



運転席体験



営業所見学



現役運転手や人事担当者との座談会

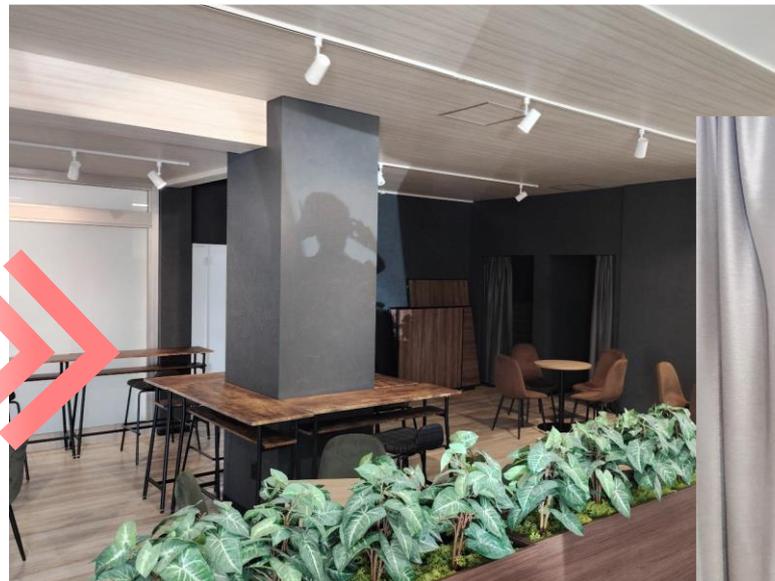
サービスを支える担い手の確保・育成③（富山地方鉄道、加越能バス等）

施策3-(2)関係

- 女性や若者をはじめ、多様な人材が働きやすく、担い手のウェルビーイング向上につながる職場環境の整備等を推進
- この他、交通事業者における二種免許の取得や、デジタル技術を活用した業務の効率化、負担軽減も支援



改修前の加越能バス高岡営業所の様子



休憩スペースの整備（加越能バス高岡営業所）

カフェスペース内には、個室スペースも設置



ネットワーク内のサービス等の連携（MaaSの充実等）

施策4-(1)、8-(2)、8-(3)関係

- カターレ富山と連携し、スタジアムグルメの500円割引クーポン等がセットとなった富山駅から会場までのバス往復チケットを造成（販売期間：9月6日～）
- 子育てタウン情報誌「はっぴーママ」と連携し、座談会やモニターツアー等を実施。県内のファミリー層の声を反映したデジタルチケットを企画

バスで行く！
サッカー×グルメ満喫
バス往復チケット

富山駅
↓
総合運動公園
栗山南口

スタグル
500円
クーポン付

富山地方鉄道株式会社

カターレ富山と連携した企画乗車券



会場でのイベント実施（9月14日）

my route × はっぴーママ富山版
座談会
どんなデジタルチケットが欲しいかな？

モニターツアー
デジタルチケットを使っておでかけしてみよう！

みんなの声も届けよう！
アンケートに答えてくれた方の中から抽選で4家族にデジタルチケットをプレゼント！

my route × はっぴーママ富山版
（「はっぴーママ」2024年秋号掲載）

【MaaSアプリ「my route」県内の目標・実績（R6年度）】

- my routeアプリのダウンロード数 目標：30,000件 ⇒ 29,669件（10/31現在）
- 各種チケット売上げ枚数（月平均） 前年度：468枚 ⇒ 924枚（10/31現在）

とやまロケーションシステムの充実・利活用 (各電停・バス停専用のQRコードの作成・掲示)

施策4-(2)関係

- 「とやまロケーションシステム」を活用し、各電停・バス停専用のQRコードを新たに掲示。コードを読み込むと、当該電停・バス停のリアルタイム運行情報ページにダイレクトでアクセス
- 今月13日から県内の各電停・バス停等に順次設置開始（1月を目途に設置完了予定）

(旧)



従来のQRコード

利用者はバス停等を
検索する手間が発生



QRのアクセス先はサイトのTOP画面

(新)



Scan this code. Check arrival time of your next train, tram, and bus !

新しいQRコードの例

停留所の運行状況 Lang

(若竹町) 辰尾・笹津線 | 辰尾・笹津行き

南堀川

18:26の情報です。15秒後に自動更新

他の路線 | マップ | 時刻表

定刻	運行状況	行き先
17:54	運行終了	→ 41辰尾団地 (若竹町 経由)
18:27	8分遅れ	→ 40笹津 (若竹町 経由)

富山市民病院口 を通過

電停・バス停毎の接近情報を直接に表示
検索の手間をカット

地域の活力・魅力向上のための「参画」

5 利用者としての参画

- (1) 地域交通を中心としたライフスタイルへの転換 → P.21,22

7 沿線まちづくりとしての参画

- (1) 駅を拠点としたまちづくり → P.23
- (2) 拠点駅の駅空間等を活用した事業活動・社会活動 → P.23
- (3) 地域の魅力向上につながる駅設備・車両のデザイン性向上 → P.23

6 支え手・担い手としての参画

- (1) 地域交通の支え手としての積極的な参画 → P.22

8 地域交通サービスとの連携等を通じた参画

- (1) 各文化・商業施設や観光地等における地域交通の運行情報等の案内 → P.24
- (2) 沿線地域の関係者と連携したMaaSアプリでの新たなデジタル乗車券の企画・作成 → P.18
- (3) 各地域のイベントと連携した地域交通の誘客や観光資源としての活用 → P.18,25,26
- (4) 地域交通サービスによる観光客の移動環境の整備 → P.24
- (5) その他、他分野・他業種と地域交通サービスの連携の検討 → P.13,14

地域交通を中心としたライフスタイルへの転換 （「電車・バスで行こう！キャンペーン」）

施策5-(1)関係

- 公共交通を実際に利用してその便利さや快適さを感じていただくため、「電車・バスで行こう！キャンペーン」を実施（開催期間：10月21日～11月10日）
- キャンペーン期間中、電車やバスが90分乗降・乗換え自由なデジタル乗車券をスマートフォンアプリ「my route」で販売（販売枚数988枚）
- 公共交通のメリットを伝える動画をSNS等で配信しキャンペーンをPR



キャンペーンPRグラフィック



デジタル乗車券イメージ



キャンペーンPR動画「電車通学のメリット」編
（再生回数：約2.6万回（12月26日現在））

地域交通の支え手としての積極的な参画（でんしゃ・バスまち店舗）

施策5-(1)、6-(1)関係

- 県内ファミリーマート24店舗と連携し、店舗内のイートインスペースを最寄り電停・バス停の待合所とする「でんしゃ・バスまち店舗」を開設（7月22日～）
- 各店舗に「とやまロケーションシステム」を活用したQRコードを設置し、最寄りの電停・バス停のリアルタイム運行情報を確認可能に
- 提携店舗の拡大に向けて、他の沿線店舗等にも働きかけを実施中



店舗入口ステッカー



店内のぼり



店内ポスターの例（11月末時点で計751件のアクセス）

座席付近に店内ポスターを貼付し、リアルタイム運行情報を入手しやすい環境を整備



「でんしゃ・バスまち店舗」開設式（7月22日）

○沿線の高校生がデザインした車両ラッピング事業、公共交通を身近に感じ、魅力を再発見するイベント「とやまレールライフフェスタ」（会場：富山駅、越中八尾駅）開催を支援

※地域の関係者が連携・協働して行う、駅空間・駅前空間におけるイベント開催、駅施設・車両等のイメージアップ・デザイン性向上に係る取組み等を支援するため、「交通まちづくり参画促進事業費補助金」を新たに創設

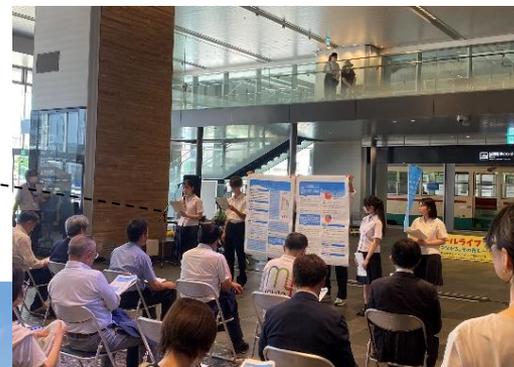
富山北部高校情報デザイン科の生徒がラッピングデザイン、車両基地で仕上げのフィルム施工



(出典：富山地铁アテンダントブログ)

フローラルとやま実行委員会「フラワーデー（花贈り日）」に合わせた車両ラッピング(R6.2～3月)

富山駅では、富山高校の生徒が公共交通の利用促進案を発表



(出典：とやまレールライフ・プロジェクト【公式】X)

とやまレールライフ・プロジェクト「とやまレールライフフェスタ」開催の様子 (R6.8.4)

駅や公共施設等における地域交通の運行情報等の案内 (デジタルサイネージの設置)

施策8-(1)、8-(4)関係

- 駅や公共施設等に、最寄りの鉄道やバス等の運行情報を案内するデジタルサイネージを設置する取組みを支援
- 富山駅前 8 番乗り場前（乗り場前のコンビニエンスストアと連携）と富山市民病院へのサイネージの設置を新たに支援
- 年度内に富山県美術館にも設置予定



富山駅前 8 番乗り場前コンビニエンスストア
(R6.8月設置)



富山市民病院入口
(R6.8月設置)



富山市民病院入口のサイネージの例

各地域のイベントと連携した地域交通の誘客や観光資源としての活用

施策8-(3)関係

- 富山myroute推進協議会が実施する「とやま1日乗り放題きっぷ」(デジタル版)の半額キャンペーンと富山マラソン(開催:11月3日)との共同PRを実施
- 富山マラソン交通規制チラシへのキャンペーン情報掲載や、富山マラソンのyoutube公式チャンネルにおけるキャンペーン紹介動画の作成
- あいの風とやま鉄道において、富山マラソンが開催される11月3日限定で臨時列車を運行(黒部駅~高岡駅間)

富山マラソン TOYAMA MARATHON 2024

参加ランナーの皆様へ、お得な情報です!

11月 利用可能期間 2日 3日 4日

myroute限定 とやま1日乗り放題きっぷ 半額 デジタル版限定 先着2,000枚

10月1日販売開始

大人 1,000円 500円 (小人250円)

myrouteアプリをダウンロード!

とやま1日乗り放題きっぷが半額! 富山マラソンに合わせて、公共交通で快適に!

富山マラソン実行委員会事務局 ☎076-444-4562

富山マラソン2024 交通規制時間のお知らせとご協力をお願い 11.3日(日) 9:00スタート

交通規制期間 5:00~10:00

11月3日(日)はノーマイカーデー 500円

富山マラソン実行委員会事務局 ☎076-444-4562

my route: アプリから使えます!!

とやま1日乗り放題きっぷが半額? 富山マラソンに合わせて公共交通で快適に!

		黒部 ⇒ 高岡 方面															
列車(両数)	定期(4両)	臨時(4両)	定期(4両)	臨時(4両)	定期(4両)	定期(4両)	臨時(4両)	定期(4両)	臨時(4両)	定期(2両)	臨時(4両)	定期(2両)	臨時(4両)	定期(4両)	臨時(4両)		
始発駅	治 5:16	(富山)	富山	富山	富山	治 6:10	黒部	富山									
黒部	5:33					6:27	6:45										
魚津	5:38					6:32	6:51										
東滑川	5:43					6:37	6:56										
滑川	5:47					6:41	6:59										
水橋	5:52					6:46	7:04										
東富山	5:56					6:50	7:08										
新富山口	5:59					6:53	7:12										
富山	6:04	6:11	6:27	6:37	6:48	7:03	7:17	14:14	14:27	14:42	14:58	15:12	15:32	16:02	16:13		
呉羽	6:15	6:32	6:42	6:53	7:08	7:22	7:36	14:20	14:31	14:47	15:03	15:17	15:37	16:07	16:18		
小杉	6:21	6:38	6:47	6:59	7:14	7:27	7:41	14:25	14:37	14:53	15:08	15:22	15:42	16:12	16:23		
越中大門	6:24	6:41	6:51	7:03	7:18	7:31	7:45	14:29	14:40	14:57	15:12	15:27	15:46	16:16	16:27		
高岡	6:29 (止)	6:45 (止)	6:55 (止)	7:06 (止)	7:22 (止)	7:35 (止)	7:49 (止)	14:33 (止)	14:44 (止)	15:01 (止)	15:16 (止)	15:31 (止)	15:50 (止)	16:19 (止)	16:31 (止)		
金沢		7:27 (止)		7:51 (止)				15:15 (止)		15:42 (止)		16:13 (止)		16:59 (止)			

あいの風とやま鉄道 11月3日の時刻表(赤線箇所が増便)

【とやま1日乗り放題きっぷ半額キャンペーン実績】
販売枚数 1,370枚

(左) チラシ、(右上) 交通規制チラシ、(右下) 動画サムネイル

各地域のイベントと連携した地域交通の誘客や観光資源としての活用 (北陸三県並行在来線周遊促進キャンペーン)

施策8-(3)関係

○北陸新幹線金沢・敦賀間の開業を契機に、北陸三県と並行在来線各社が連携し、並行在来線を利用したキャンペーンを展開

①北陸三県連携観光列車の特別運行 (R6.10.12~10.14)

- あいの風とやま鉄道の観光列車『一万三千尺物語』が3日間限定で北陸三県をつなぐ特別運行(普段は走行しない石川・福井へ乗り入れ)
- 定員120名(40名/コース×3コース)に対し約4倍の応募(449名)
- コース毎に、車窓からの美しい景色のほか、出発駅・停車駅での趣向を凝らした特別なおもてなしや旬の食材を使用した特別な料理などを提供



②共通フリー切符の販売 (R6.3.16~R7.3.31)

- 北陸三県並行在来線区間が2日間乗り放題の切符
- 開業後8か月で約12,000人の利用



③周遊デジタルスタンプラリーの実施 (R6.10.18~R7.2.28)

- スマホアプリ(位置情報連動型ゲーム「駅メモ!」シリーズ)を活用して北陸三県の並行在来線の駅や沿線の観光スポットを巡るスタンプラリー

